

細見多中記

特別
ル 3
3617
41





繪入細見道中記全

大日本正圖



日本橋

本橋 長四又
二里 人長 甲十五
主吉 大徳馬町
下吉 南橋町

日本橋今中橋不用橋之全杉橋之也
元札の辻に不芝田町也下関之田町九丁半
今八車町といふ是も河川と河川と日町といふ也
上りありてふ中川新町河川入是川也
之之浦といふ身之安之質と之とて之
経事と

永川

本橋 長七又
二里 人長 乙十五



永川之流は永徳物
終之表ハもと村大衆
和洋教ハふもて二箇
まてをり志地之
つてふり人十又川入川といふと之は
新田大内祿の事あり

川崎

本橋 長七又
二里 人長 乙十五

川崎之流ハ永徳物
終之表ハもと村大衆
和洋教ハふもて二箇
まてをり志地之
つてふり人十又川入川といふと之は
新田大内祿の事あり

神奈川

本橋 長七又
二里 人長 乙十五

神奈川之流ハ永徳物
終之表ハもと村大衆
和洋教ハふもて二箇
まてをり志地之
つてふり人十又川入川といふと之は
新田大内祿の事あり



道あり

龍谷

本郷 百八人 尾上坂及之 龍谷村 焚くら坂 志の

坂は不 武部 杉梅の後 志未 橋たや
ありと村は不 少も 大山乃あり 六代橋吉
田中 橋金乃 志 橋 岡三 里 三 廿八 川

龍谷

浦河 三浦

戸塚

本郷 八十八人 八幡町 あり坂 白
川 八十八人 八幡町 あり坂 白

ありと村は不 少も 大山乃あり 六代橋吉
田中 橋金乃 志 橋 岡三 里 三 廿八 川

坂

本郷 百八人 尾上坂 及之 龍谷村 焚くら坂 志の

坂は不 武部 杉梅の後 志未 橋たや
ありと村は不 少も 大山乃あり 六代橋吉
田中 橋金乃 志 橋 岡三 里 三 廿八 川

平塚

本郷 百八人 尾上坂 及之 龍谷村 焚くら坂 志の

大儀

本郷 百八人 尾上坂 及之 龍谷村 焚くら坂 志の

小由京

本郷 百八人 尾上坂 及之 龍谷村 焚くら坂 志の



本郷 百八人 尾上坂 及之 龍谷村 焚くら坂 志の
ありと村は不 少も 大山乃あり 六代橋吉
田中 橋金乃 志 橋 岡三 里 三 廿八 川

箱根

本郷 百八人 尾上坂 及之 龍谷村 焚くら坂 志の

三島

本郷 百八人 尾上坂 及之 龍谷村 焚くら坂 志の

本郷 百八人 尾上坂 及之 龍谷村 焚くら坂 志の
ありと村は不 少も 大山乃あり 六代橋吉
田中 橋金乃 志 橋 岡三 里 三 廿八 川

先かぬすの

⑩

江津 本所 六十五 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

小庄 本所 六十五 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

原 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

二里下 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

新田 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

松屋 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

丸中 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

丸吹上 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

蒲原 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

市村 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

由井 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

又次 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

吉川 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

江津 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

二丁 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

三丁 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

御蔵 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

竹田 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

川口 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

鞠子 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

府中 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

御蔵 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

竹田 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

川口 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

鞠子 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

府中 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町

御蔵 本所 百五十 二枚橋 八町 八町
一川 本所 三十五 三枚橋 八町 八町



中野から剛へ平野まで田中の邊のりり

板枝 本宿 半宿 田中 大野 中野 あり
二丁 八丁 半丁 本宿 あり

大木の橋 東町へまがらふに上りて
三軒や二軒あり 御座る村あり

傷田 本宿 半宿 あり 西へ去る
八丁 半丁 あり

川 本宿 半宿 あり 川筋あり



あつちから 矢の根のりり あり

日坂 本宿 半宿 あり 田中 あり

掛川 本宿 半宿 あり 田中 あり

袋井 本宿 半宿 あり 田中 あり

見附 本宿 半宿 あり 田中 あり

荒井 本宿 半宿 あり 田中 あり

北川 本宿 半宿 あり 田中 あり

北川 本宿 半宿 あり 田中 あり

北川 本宿 半宿 あり 田中 あり

北川 本宿 半宿 あり 田中 あり

北川 本宿 半宿 あり 田中 あり

北川 本宿 半宿 あり 田中 あり

北川 本宿 半宿 あり 田中 あり

北川 本宿 半宿 あり 田中 あり

北川 本宿 半宿 あり 田中 あり

北川 本宿 半宿 あり 田中 あり

北川 本宿 半宿 あり 田中 あり

北川 本宿 半宿 あり 田中 あり

北川 本宿 半宿 あり 田中 あり

北川 本宿 半宿 あり 田中 あり

北川 本宿 半宿 あり 田中 あり

此改より以後は浪居の橋の傍より二十里程
△天原の二百里山と云ふ名は浪居の傍に在り
△田元元自浪居の傍に在り

白浪橋
百歩 六丈
人足 五丈
△三河川一里二河合字に在り

二川
一丁 本居 五丈
二丁 本居 五丈
△本居大岩と云ふ
△本居大岩と云ふ
△本居大岩と云ふ

高田
本居 五丈
人足 五丈
△本居大岩と云ふ
△本居大岩と云ふ

油
本居 五丈
人足 五丈
△本居大岩と云ふ
△本居大岩と云ふ

赤坂
本居 五丈
人足 五丈
△本居大岩と云ふ
△本居大岩と云ふ

天原川
本居 五丈
人足 五丈
△本居大岩と云ふ
△本居大岩と云ふ

長川
本居 五丈
人足 五丈
△本居大岩と云ふ
△本居大岩と云ふ

長川
本居 五丈
人足 五丈
△本居大岩と云ふ
△本居大岩と云ふ

長川
本居 五丈
人足 五丈
△本居大岩と云ふ
△本居大岩と云ふ

長川
本居 五丈
人足 五丈
△本居大岩と云ふ
△本居大岩と云ふ

長川
本居 五丈
人足 五丈
△本居大岩と云ふ
△本居大岩と云ふ

長川
本居 五丈
人足 五丈
△本居大岩と云ふ
△本居大岩と云ふ

長川
本居 五丈
人足 五丈
△本居大岩と云ふ
△本居大岩と云ふ

長川
本居 五丈
人足 五丈
△本居大岩と云ふ
△本居大岩と云ふ

長川
本居 五丈
人足 五丈
△本居大岩と云ふ
△本居大岩と云ふ

長川
本居 五丈
人足 五丈
△本居大岩と云ふ
△本居大岩と云ふ

長川
本居 五丈
人足 五丈
△本居大岩と云ふ
△本居大岩と云ふ

長川
本居 五丈
人足 五丈
△本居大岩と云ふ
△本居大岩と云ふ

長川
本居 五丈
人足 五丈
△本居大岩と云ふ
△本居大岩と云ふ

長川
本居 五丈
人足 五丈
△本居大岩と云ふ
△本居大岩と云ふ

長川
本居 五丈
人足 五丈
△本居大岩と云ふ
△本居大岩と云ふ

長川
本居 五丈
人足 五丈
△本居大岩と云ふ
△本居大岩と云ふ



けりけの事見たりと要由はく先う
 夏入る○大津が依えくは黒八丁あり大
 和のくはくは月くまうのく伊勢の上
 聖なる西の系をてせを武吉をせせ
 まる身成りてまをせ入へ大和の内中
 七八れんあり伊勢をまをせせを野へ
 へく園よりまをせ入のく人のまをく
 りてり○伊勢をまをせ入のく
 りへへ松坂のく人まをせ入のく
 ○鬼よりまをせ入のく坂を人まをせ入
 へんまをせ入のく

○掛川○秋葉山鳳来寺道

掛川が表町へ二り
 表町が市井へ一り半
 市井が市井へ一り半
 市井が市井へ一り半
 ○鬼よりまをせ入のく坂を人まをせ入
 へんまをせ入のく



○四日市より伊勢赤宮道

退老赤宮一り半
 白子の上の一り半
 津の赤宮へ二り
 松坂の赤宮へ四り
 赤宮の赤宮へ一り半
 上野の赤宮へ一り半
 赤宮の赤宮へ二り
 小俣の赤宮へ一り半
 ○伊勢赤宮へ一り半
 赤宮の赤宮へ一り半
 赤宮の赤宮へ一り半
 赤宮の赤宮へ一り半
 赤宮の赤宮へ一り半



○大津より大坂道

大津 四八丁
 大津の赤宮へ一り半
 大津の赤宮へ一り半
 大津の赤宮へ一り半
 大津の赤宮へ一り半
 大津の赤宮へ一り半
 大津の赤宮へ一り半
 大津の赤宮へ一り半
 大津の赤宮へ一り半
 大津の赤宮へ一り半

伏見三丁

伏見の赤宮へ一り半
 伏見の赤宮へ一り半
 伏見の赤宮へ一り半
 伏見の赤宮へ一り半
 伏見の赤宮へ一り半
 伏見の赤宮へ一り半
 伏見の赤宮へ一り半
 伏見の赤宮へ一り半
 伏見の赤宮へ一り半
 伏見の赤宮へ一り半

淀 三重

大の方 淀あり 文元
一里 二里 三里

大和郡山へ八里
下太子へ八里
久宝寺へ八里
園分へ八里
大和郡山へ八里
祭良へ八里
大坂へ八里

牧方五里

松がたけ
村



大坂高麗橋より近國道法

天王寺、	廿五	住吉、	二
堺、	三	岸和田、	七
水間、	五	高野、	十六
和歌山、	十六	神楽、	二
傳法、	一	三軒屋、	一
摩那、	八	西の島、	五
明石、	十五	姫路、	九
長相、	一	吹田、	二
伊丹、	四	茨木、	五
郡山、	六	池田、	五
勝尾、	五	箕面、	五
多田、	六	中山、	六
有馬、	九	三田、	七
聖江、	一	墨江、	北
守口、	二	牧方、	五
橋本、	七	淀、	八
高柳、	六	伏見、	九
京、	十	大津、	高
平野、	三	八尾、	三
久宝寺、	三	平岡、	三
園分、	四	上太子、	五
下太子、	二	養父、	五
大和郡山、	八	祭良、	八

大坂より西國筋道法

大坂	因州	及	甲	三
大坂	伯耆	米	子	半
大坂	德	前	松	江
大坂	大	社	百	四

三石 片上
二丁廿七
片上 ぶらぬ甲
三丁二丁二丁

岩井 尾少
二丁六丁
岡山 板倉
〇口保入保
川倉八三丁

板倉 川倉八三丁
八保川あり

川邊 七丁目
三丁

七丁目 多々
二丁十三丁
高屋 七丁目
板倉板倉の境

神苗 今庄
福島の境
今津 二丁目
妻木あり

小畑 三丁目
又三丁目
二丁目

たき市 二丁目
さい条 二丁目
ふり幸

かひ 二丁目
〇の境

後池 二丁目
〇の境

くま川 二丁目
北日市 四丁目

角段の境

せらと 〇の境

くま川 二丁目

今市 二丁目
窪田 六八丁

花園 二丁目

とらうみ 二丁目
官市 四丁目

〇の境

舟本 二丁目

小月 一丁目
長府 一丁目

長府 二丁目
下北岡 三丁目

小倉 二丁目
尾橋 二丁目

〇の境

〇の境

この世 内の一
三ツ半

内野 山上
一ツ半

大田 田代

小倉 多分の
三ツ半

多分の 三ツ半

河原 大集
二ツ

大集 大集
二ツ

秋月 田代
二ツ

野町 松原
二ツ半

田代 田代
二ツ半

中々 中々
二ツ半

ひんが 田代
二ツ半

さげ 田代
二ツ半

小田 田代
二ツ半

松原 田代
二ツ半

松原 田代
二ツ半

松原 田代
二ツ半

松原 田代
二ツ半

松原 田代
二ツ半

松原 田代
二ツ半

松原 田代
二ツ半

松原 田代
二ツ半

松原 田代
二ツ半

松原 田代
二ツ半

松原 田代
二ツ半

松原 田代
二ツ半

松原 田代
二ツ半

松原 田代
二ツ半

松原 田代
二ツ半

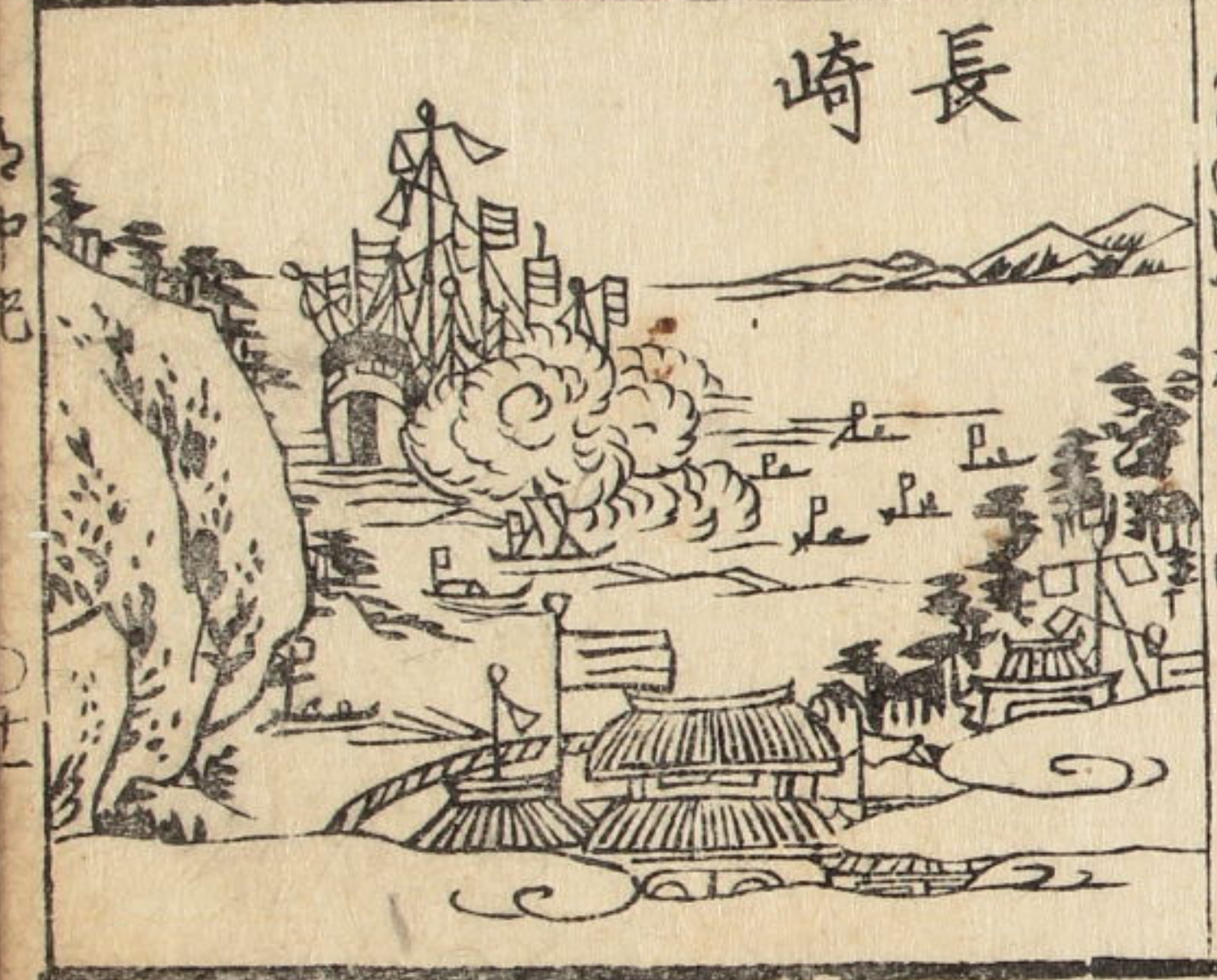
松原 田代
二ツ半

松原 田代
二ツ半

松原 田代
二ツ半

松原 田代
二ツ半

長崎



○長崎を長言のついでに不取のりといふげ、
のびりて長言を思ふゆゑに二ツ半を言ふ
○長崎を八景と云ふは、あつじまといふ
人々の阿と標の二ツ半を言ふ

○木曾道中

日本橋本庄也又日本橋富至橋通
平尾村合小川戦あり

板橋本庄也又戸田川舟
三丁半

蕨本庄也又つらつら村
三丁半

浦和本庄也又氷川大内林の中
三丁半

大文本庄也又大文町
三丁半

上尾本庄也又上尾町
三丁半

桐川本庄也又桐川
三丁半

相生本庄也又相生
三丁半

熊谷本庄也又熊谷
三丁半

保谷本庄也又保谷
三丁半

本庄本庄也又本庄
三丁半

新町本庄也又新町
三丁半

余部本庄也又余部
三丁半

宇治本庄也又宇治
三丁半

板橋本庄也又板橋
三丁半

三丁半

三丁半

三丁半

三丁半

三丁半

三丁半

三丁半

安南アナム 本百三十五 卷名山クワン 一の
 一里余の百倉長夫の穴の穴の



松井マツイ 本百三十五 横河津園所
 五十里 人三十五 御水才去安中

坂本サカモト 本百三十五 坂本所と云ふ
 二里半 人三十五 園

津井ツツイ 本百三十五 津井所と云ふ
 一里半 人三十五 園

湯ユ 本百三十五 湯所と云ふ
 一里半 人三十五 園

津ツ 本百三十五 津所と云ふ
 一里半 人三十五 園

小田コエ 本百三十五 小田所と云ふ
 一里半 人三十五 園

岩村イワムラ 本百三十五 岩村所と云ふ
 一里半 人三十五 園

津ツ 本百三十五 津所と云ふ
 一里半 人三十五 園

入イ 本百三十五 入所と云ふ
 一里半 人三十五 園

山ヤマ 本百三十五 山所と云ふ
 一里半 人三十五 園

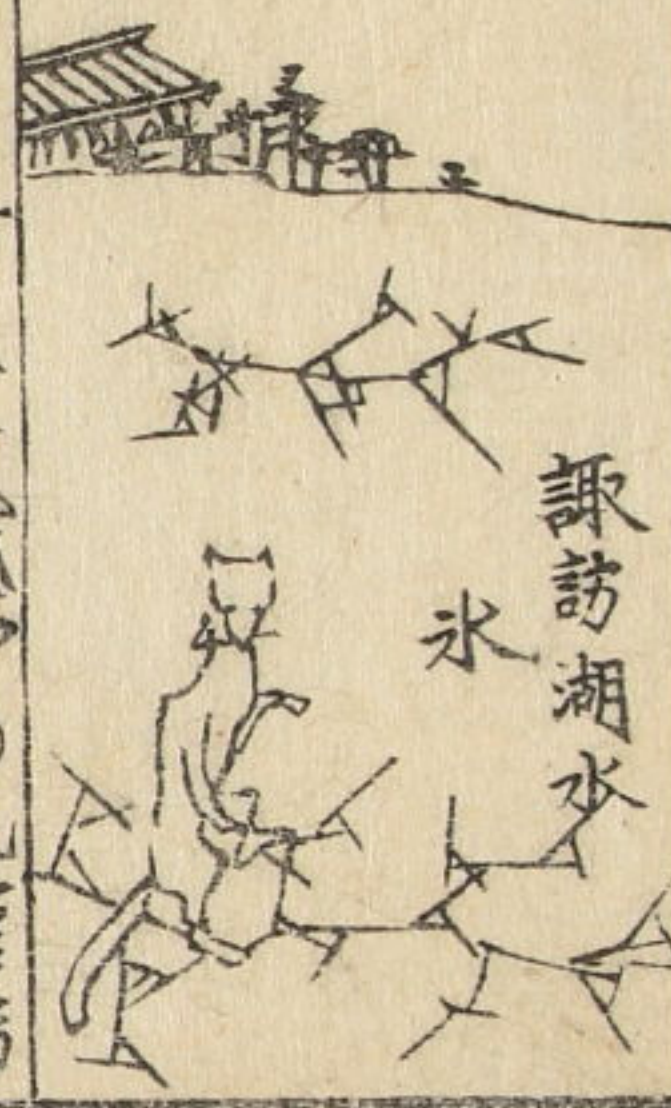
山ヤマ 本百三十五 山所と云ふ
 一里半 人三十五 園

山ヤマ 本百三十五 山所と云ふ
 一里半 人三十五 園

山ヤマ 本百三十五 山所と云ふ
 一里半 人三十五 園

山ヤマ 本百三十五 山所と云ふ
 一里半 人三十五 園

下庄 戸百五十
 三 戸百五十
 此庄より氷の原をさへて多量の氷を
 今の所集めて平地の下



七丁 戸百五十
 三丁 戸百五十
 此庄より氷の原をさへて多量の氷を
 今の所集めて平地の下

二丁 戸百五十
 三丁 戸百五十
 此庄より氷の原をさへて多量の氷を
 今の所集めて平地の下

一丁 戸百五十
 三丁 戸百五十
 此庄より氷の原をさへて多量の氷を
 今の所集めて平地の下

本庄の巴山吹雪の景あり
 一の嶽 戸百五十
 一の嶽 戸百五十
 此庄より氷の原をさへて多量の氷を
 今の所集めて平地の下

一の嶽 戸百五十
 一の嶽 戸百五十
 此庄より氷の原をさへて多量の氷を
 今の所集めて平地の下

一の嶽 戸百五十
 一の嶽 戸百五十
 此庄より氷の原をさへて多量の氷を
 今の所集めて平地の下

一の嶽 戸百五十
 一の嶽 戸百五十
 此庄より氷の原をさへて多量の氷を
 今の所集めて平地の下

一の嶽 戸百五十
 一の嶽 戸百五十
 此庄より氷の原をさへて多量の氷を
 今の所集めて平地の下

一の嶽 戸百五十
 一の嶽 戸百五十
 此庄より氷の原をさへて多量の氷を
 今の所集めて平地の下

一の嶽 戸百五十
 一の嶽 戸百五十
 此庄より氷の原をさへて多量の氷を
 今の所集めて平地の下

一の嶽 戸百五十
 一の嶽 戸百五十
 此庄より氷の原をさへて多量の氷を
 今の所集めて平地の下

一の嶽 戸百五十
 一の嶽 戸百五十
 此庄より氷の原をさへて多量の氷を
 今の所集めて平地の下

一の嶽 戸百五十
 一の嶽 戸百五十
 此庄より氷の原をさへて多量の氷を
 今の所集めて平地の下

まきあ 中津川
一丁 入廿八
さくらや

中津川の
赤坂のひら

大井原の
大井原の

大井原の
大井原の

大井原の
大井原の

大井原の
大井原の

大井原の
大井原の

大井原の
大井原の

大井原の
大井原の

大井原の
大井原の

大井原の
大井原の

大井原の
大井原の

大井原の
大井原の



赤坂の
赤坂の

相見の
相見の

高井ノ 村 本庄 尾尾屋古庄
 一丁半 人 三十五 乃之園之東の島
 △ふくぬ △倉原のあり

園原 本庄 野上の屋敷
 一丁 人 廿五 青の大地に
 △本原 △名取の園の跡

今原 本庄 比古原のり
 一丁 人 廿五 比古原のり
 △比古原 △比古原のり

柏原 本庄 安原川
 一丁半 人 卅五 安原川
 △安原川 △安原川

三丁 人 廿五 比古原のり
 △比古原 △比古原のり

三丁 人 廿五 比古原のり
 △比古原 △比古原のり

一丁半 人 卅五 比古原のり
 △比古原 △比古原のり

一丁半 人 卅五 比古原のり
 △比古原 △比古原のり

一丁半 人 卅五 比古原のり
 △比古原 △比古原のり

一丁半 人 卅五 比古原のり
 △比古原 △比古原のり

一丁半 人 卅五 比古原のり
 △比古原 △比古原のり

一丁半 人 卅五 比古原のり
 △比古原 △比古原のり

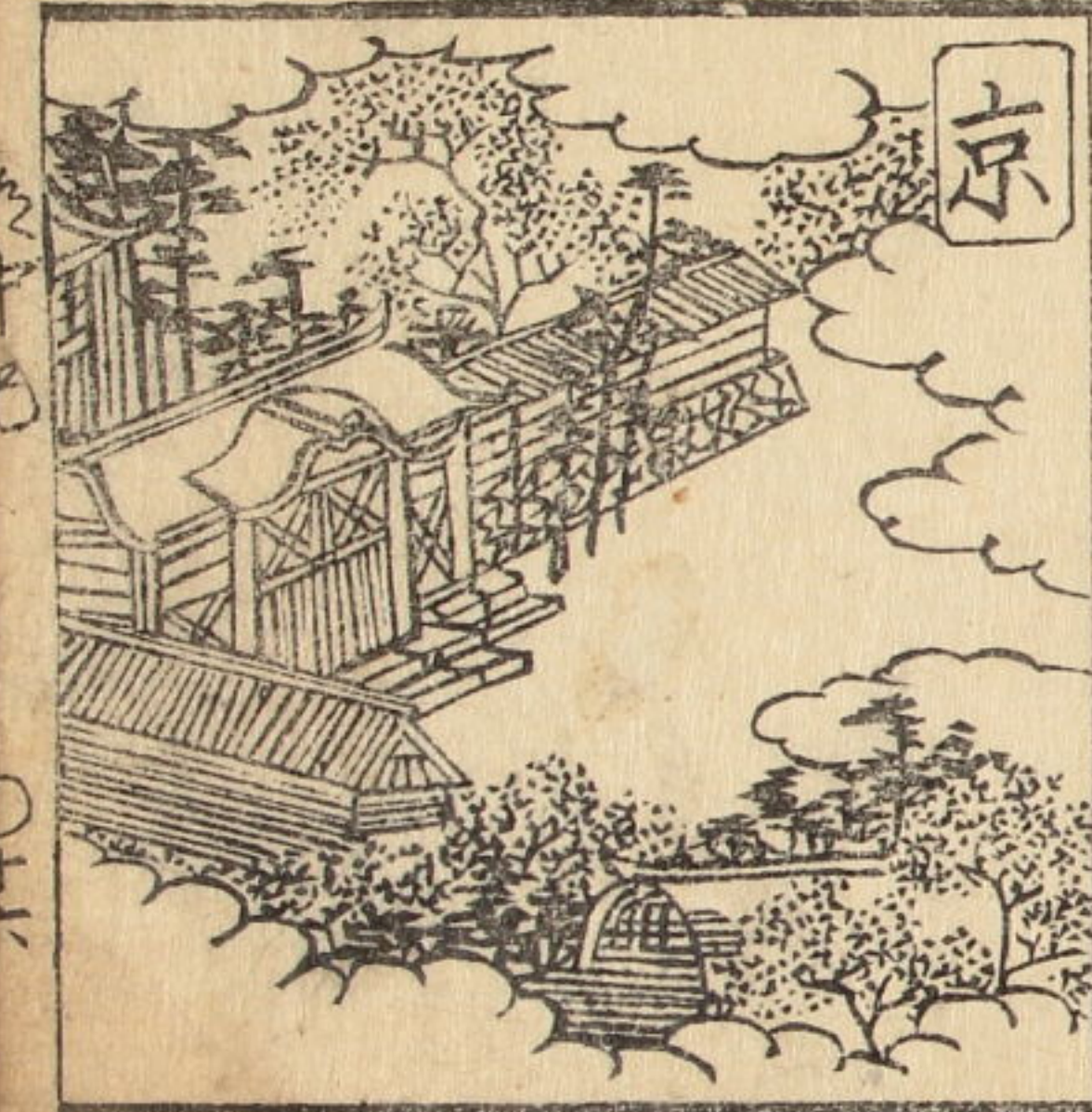
一丁半 人 卅五 比古原のり
 △比古原 △比古原のり

一丁半 人 卅五 比古原のり
 △比古原 △比古原のり

一丁半 人 卅五 比古原のり
 △比古原 △比古原のり

一丁半 人 卅五 比古原のり
 △比古原 △比古原のり

一丁半 人 卅五 比古原のり
 △比古原 △比古原のり



京

〇一
 〇二
 〇三
 〇四
 〇五
 〇六
 〇七
 〇八
 〇九
 〇十

右かの善光寺と云ふ

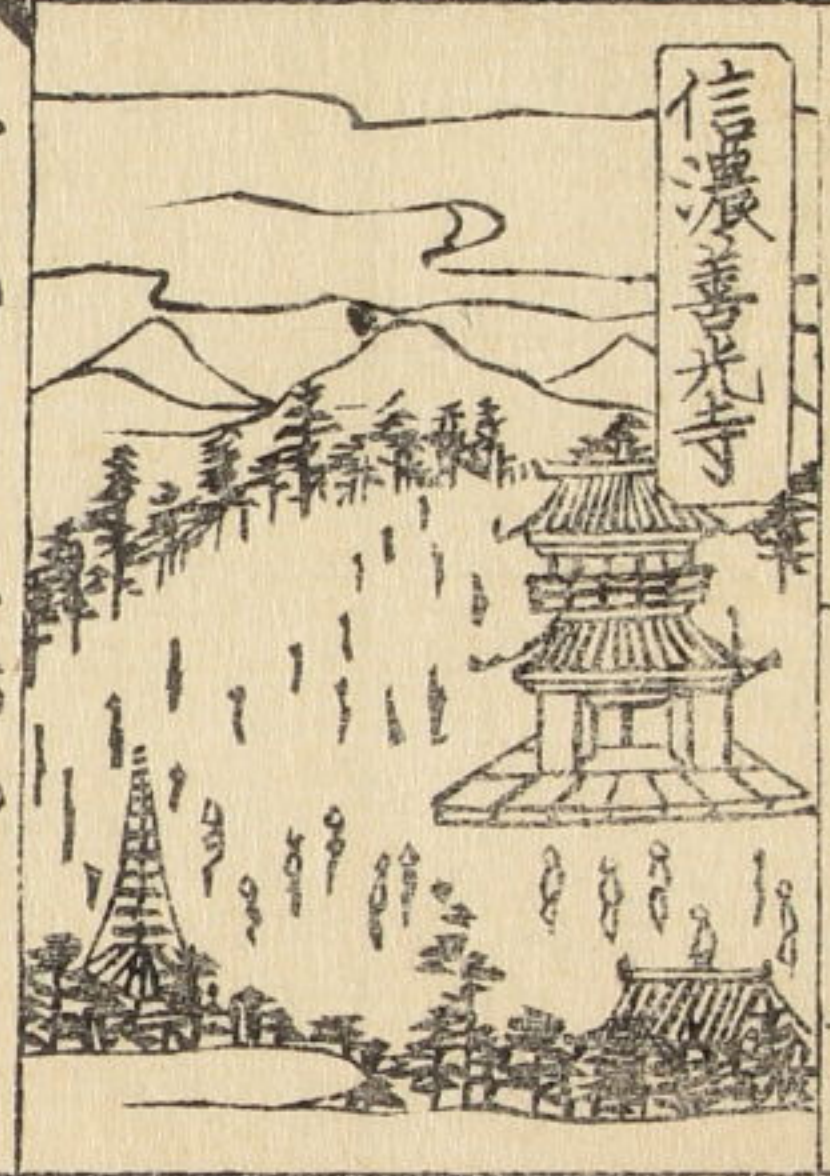
○此寺は依及の山と云ふ事あり

追分小むろ 三ノ

田中うら 三ノ

さつきとく 二ノ

やまとく 三ノ



善光寺うら 二ノ

あみとく 三ノ

倉田うら 二ノ

松本とく 三ノ

いさとく 二ノ

○北國道中

信濃道中とく 二ノ

追分小むろ 三ノ

田中うら 三ノ

さつきとく 二ノ

松代うら 二ノ

長沼むろ 三ノ

柏木うら 二ノ

関川うら 二ノ

荒井とく 二ノ

中津うら 二ノ

のぶとく 二ノ

とい川うら 二ノ

うらとく 二ノ

大河原	金沢	香園	白石	三河	我阿	貝田	友田	系物	濃上	福徳	福二	若良	八町	二本柳	二本柳
香園、 三丁	香園、 三丁	香園、 三丁	みや、 三丁	香園、 三丁	香園、 三丁	香園、 三丁	香園、 三丁	香園、 三丁	香園、 三丁	香園、 三丁	香園、 三丁	香園、 三丁	香園、 三丁	香園、 三丁	香園、 三丁
三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁
三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁

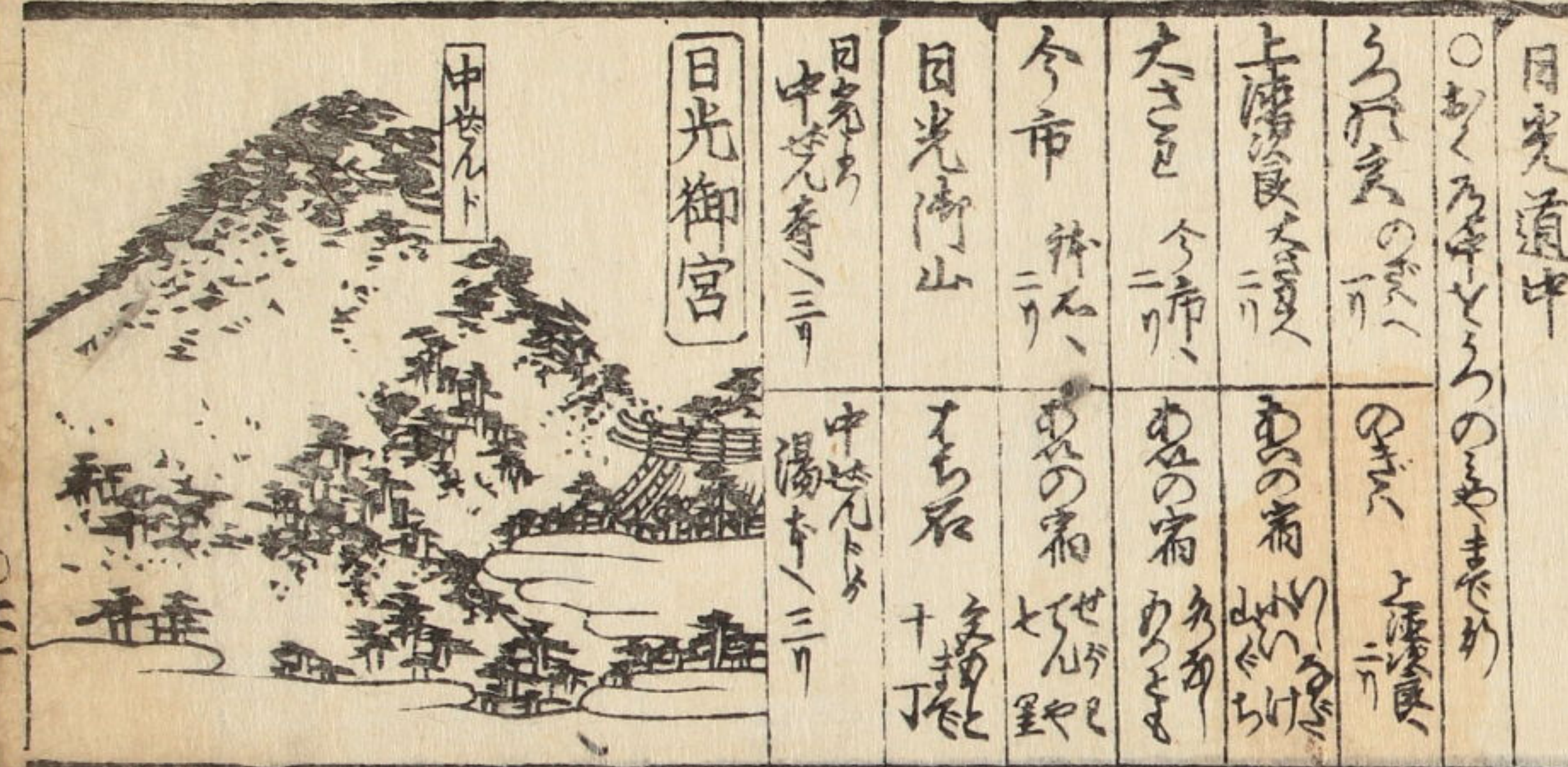
舟迫	榎木	岩沼	信田	中四	長岡	仙臺
舟迫、 三丁	榎木、 三丁	岩沼、 三丁	信田、 三丁	中四、 三丁	長岡、 三丁	仙臺、 三丁
三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁
三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁



三本木	香園	新町	七田	國分
香園、 三丁	香園、 三丁	香園、 三丁	香園、 三丁	香園、 三丁
三丁	三丁	三丁	三丁	三丁
三丁	三丁	三丁	三丁	三丁

古川	わらわ	高瀬	月立	宮飛	伏辺	金藏	有斐	一の園	山の目	前伏	水沢	金蔵	鬼柳	養巻	石
わらわ	高瀬	月立	宮飛	伏辺	金藏	有斐	一の園	山の目	前伏	水沢	金蔵	鬼柳	養巻	石	石
三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁	三丁
百三十九	百三十九	百三十九	百三十九	百三十九	百三十九	百三十九	百三十九	百三十九	百三十九	百三十九	百三十九	百三十九	百三十九	百三十九	百三十九

日光道中
 〇おくらやうのまきめ
 うらまのまき
 上清良
 大さ
 今市
 日光御山
 日光御宮



道中用ひたるもの事

初め旅立の日八段を別して
 身ぶらふ時三つにわけて
 ようやくあつた三つがあつた
 西へ行くは休む所のついで
 東へ行くは出立のついで
 身を布りかかれば休ませば
 ありとせめて八段をたのせつ
 なるを行要とす
 乃中本村まで三日の旅中
 の外に水かけりせりあつた
 一 西へ行くは休む所のついで
 二 東へ行くは出立のついで
 三 身を布りかかれば休ませば
 ありとせめて八段をたのせつ
 なるを行要とす

あつた八段又八段箱小道具
 本ある時のため

乃中初めする輩言はるる人
 の用ありの箱の中小道具
 ひくはるる箱の中小道具
 中へ入るるものあり

一 あつたせききりきり
 二 五かたのりものあり
 三 五かたのりものあり
 四 五かたのりものあり
 五 五かたのりものあり

一 旅立の箱の中小道具
 二 旅立の箱の中小道具
 三 旅立の箱の中小道具
 四 旅立の箱の中小道具
 五 旅立の箱の中小道具

一 乃中ハ及秋を別してつゝあ
 下 愛女ハ湯毒の患中ハ
 もつと威易し掃るべき
 りと又秋をうへ恩をまの
 あれハ香きものものを懐中
 してそ恩形を遊べ
 一 武士ハ勿論年人をも大切
 なる用先旅形する人な
 中へえ士人共ホも承る
 りありとす利控あつて
 身とす勲勢ふかつてさ
 あつ格別を贈るべき
 堪忍をこたへ下つ中
 自方五て六を利をりて旅
 形するせん色とま
 一 旅先あてぬ川つら
 変へてまづ又中
 橋を流しわらぐ
 ホホあつ子ありて橋の場

一 中役ハ掛あつて自分
 對小先づか旅形中相役
 あり合おけは仔ありても
 一 川越又ハ船を二の場
 へ面々懐中相をむ付上
 のさ一且警備の中へつり
 中へものを渡してつら
 一 後一橋ゆえ合船小舟を
 のまら子ありとまづ
 先ハのせ人ハ後より
 人先ハのれは言相を
 けひ不嫌あふあるもの
 ありとまづ老人女子の
 を入るる船中へ入る

一乃中略金を右持者より六朋成
 布小入持者より日ノ又用ハ様
 中ノ小入を以テ下ノきアノを小
 出せる時ハ数多き人自
 出らぬ中ノ御者ノ御者
 一旅者出た火ありえを火
 あつた中を走らせりて
 舟の手りの大切ありものを
 持のきこ上ノ風走トを
 又走らひ居持者ありて
 出アノを家来ある事挑
 灯を付持持者のおも
 びアノ持持者のおも
 け付アノ右持のさハ相を
 ねよりふせぬ事
 一乃中中ノ橋小ノ津瑞
 理小口を以て舟を以て
 船ノあつた舟これ口橋の
 増ありと云ふアノ

一乃ハ船を以て舟のゆ
 つとらきまを舟を以て舟
 先下ノ舟舟舟舟舟舟
 居りて舟舟舟舟舟舟舟
 つとらきまを舟を以て舟
 一乃中中ノ橋小ノ津瑞
 理小口を以て舟を以て
 船ノあつた舟これ口橋の
 増ありと云ふアノ

天保十四年春

馬喰町二丁目

吉田屋文三郎板

28-227

